

9月18日に深圳で日本人学校に登校途中の男子生徒(10歳)が中国人男性に刺殺されるという事件がありました。日中友好協会本部がこれに声明を出しましたので、紹介します。(犬飼)

声明

9月18日に深圳で発生した日本人小学生殺害事件について

9月18日に深圳市で日本人小学生が殺害される事件が発生しました。

6月にも蘇州市でも傷害事件が発生しており、中国在住日本人だけでなく、日本国内でも不安が広がっています。

あらためてご家族に哀悼の意を表するとともに、蘇州事件で日本人母子をかばって犠牲になった中国人女性にも哀悼の意を表します。

事件現場の小学校前には、日本人だけでなく、多くの中国人も献花に訪れ、痛ましい事件に対し怒りと悲しみを共有しています。

一方では、中国版 SNS 上で事実とは異なる反日情報が流されていることも事実です。今回の事件が中国にとって「国恥の日」とされる柳条湖事件の当日であったことも関わりが取りざたされています。中国政府が蘇州の事件も含め、今日に至るも原因を発表していないことも、不安の一因となっています。

今回の事件は日中関係の発展にとって痛ましく、憂慮すべき事件と言えます。中国側も「事件に心を痛み、不幸にして亡くなられた子供に深い哀悼の意を表し」「中国側は法に基づいて事件を捜査、審理し、いかなる形の暴力犯罪行為にも断固として取り締まります」(吴江浩大使の中国建国75周年記念祝賀会)と表明しています。日中両国政府は近年、対話を通じた平和外交よりは対立面を際立たせる傾向があり、両国の国民感情にも少なからぬ負の影響を与えています。しかし両国政府はそれぞれの国内における両国関係者の安全に対して万全を期すのは当然の責務であり、一刻も早い事件の解明と今後の対策について責任ある対話を進め、具体的措置を講じていくことが大切です。

日本中国友好協会としても両国国民の友好交流のさらなる発展に努め、このような哀しい事件が再発しないよう、各方面との協力を努めることを改めて表明します。

2024年9月29日 日本中国友好協会

<追悼緊急岡山集会ご案内>

日時: 2024年9月23日(月・祝) 11時~12時

場所: 岡山国際交流センター6階

(北区奉還町 2-2-1)

主催: 岡山県華僑華人総会

(電話 086-201-1076)

会費: 無料

内容: 9月18日、祖国広東省深セン市で日本人の児童(10歳)が日本人学校登校中、44歳の中国人男性に腹部を刺され殺害されました。

私達県内に在住する華僑華人は、この事件に心を痛めると共に、ご家族への追悼の思いと犯人に対しその卑劣な行動を糾弾致します。

岡山では、先日祖国政府主催による第7回西日本地区中国友好交流大会が開催され、550名の中日の関係者が新たな認識の下、スタートする事を約束したばかりです。

先人が切り開いた中国友好の思いを一層深め固める為、追悼緊急岡山集会を企画しました。

この事件を怒る皆様に、是非ご出席いただき、それぞれの立場からご発言いただきたく思います。

2024年9月20日

岡山県華僑華人総会

劉勝徳

9月22日に上記のファックスを劉会長からいただいた犬飼が追悼緊急岡山集会に参加しました。

集会には岡山県議の大塚愛さん、元参議院議員の姫井由美子さんも参加されていました。

私は「10歳の男子の孫がいるので他人事と思えない。とても悲しい事件だ。」と発言しました。

他の人々からは「中国政府が原因をはっきりさせるべきだ。」「監視カメラが増えて、犯罪は激減したはずなのに。」「歴史を忘れてはいけないが、それが反日感情につながることは少ない。反日感情を持っている中国人は非常に少ない。」「犯人は精神異常者か？親を襲うならわかるが、なぜ子どもを？」といった意見が相次ぎました。二度とこのような事件が起こらないことを心から祈念します。



1032

2024/10/15

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouthao.iinaa.net>
 メールアドレス
rizhongyouthaoxiehuiokayama@yahoo.co.jp



竹内先生のマンションから日中関係の書類 を引き上げてきました

真田紀子

2024年9月27日の金曜日、成年後見人である近藤弁護士の下、私と貝吹さん、遅れて田中さんの3人で、マンションの部屋を探索しました。

玄関ドアの右手にある部屋の押し入れから、写真パネルの入った箱が4つ見つかりました。今は展示する予定はありませんが、また展示するチャンスがあるかもしれません。貴重なものなので、翌日、河井理事長が軽トラで運び、ご自宅で保管していただいています。

その他、台所の前の部屋の押し入れから、探していたものが見つかりました。「友好録」と記されている芳名帳がありました。写真

その最初のページに「日中友好」1955 6 25 の日付と、内山完造さんの書に揮毫してあった署名があります。また、本物をみなさんに見ていただきます。

2枚目には1955年12月15日の日付と、郭沫若の署名もあります。文章は達筆なので、読みにくいです。

大変なお宝のようです。



10月6日、毎月第一日曜日恒例の太極拳の練習会が、岡輝公民館で朝10時からあり、参加者は5人だった。

練習会はいつものように、練功18法と簡化24式と八段錦をして、腕や足を丁寧にぐるぐる回す運動もした。女性ばかりだったので、だいぶ口も動かした。たぶん口の運動が一番よくできた。

練習のあとは一人減って4人で中華料理を食べ、県立美術館へ大シルクロード展を見に行った。

唐三彩の色味が好きなので、「女子俑」「騎馬胡人俑」などときめいた。「張騫出使西域図 模写」や白居易故居址から出土した「小鉢・椀・石硯」は百科検定でてきた人らだ～、となった。

観覧後に物販に行ったら、シルクロードに混じって、三国志や西遊記のグッズも売られていた。三国志好きの2人が同じものを買っていた。

そのあとまた1人減って、3人でオリエント美術館へガラスの創造力展を見に行った。西洋のガラスはどんどん透明になってキラキラしていったのに対し、中国のガラスがしっかりと色のついたガラスじゃないような質感のものになっていたのが、それぞれの求める良いものの違いを感じられてよかった。



倉敷支部映画会「大地の子」第6部『日本』・第4部『黒災』開催 9月28日(土) ライフパーク倉敷視聴覚ホール
参加者の感想を掲載します。

「今こそ民と民のつながりの大切さを思わずにはおれません。戦争とはどういうことか、どういう傷跡を残していくものかを若い人々に伝えていかなければと思いました。」民を持って官を促す”あきらめないで歩みたいものです。」

「すばらしかった。国の事情で個人が犠牲になるのは忍びない。今の中国はあの時代のような事がないことを祈ります。」

「今の中国では児童の殺害、スパイ容疑で日本人が捕まっている。この時代(大地の子)の因縁が残っているのか。中国が好きという息子に注意された。もっと中国と日本が仲よくなればと・・・」

「中国の文化大革命、その前の反右派闘争の実情を盛り込みながら、残留孤児の苦難の歩みと日中国交回復前後の過程が、開拓団の悲惨な歴史とともに見事に描き出されていて、非常に印象深く感銘を受けました。陸一心と江月梅の奇跡的な出会いと助け合い、深い覚悟に心を打たれました。」

「現在の日中関係はぎくしゃくし好ましい状況とはいえない。第6部では日中国交回復のころで今の様子とずいぶん違うが。日中関係はいつも政治の世界と人々庶民との間でずいぶん違っていると思う。」

「改めて民間レベルでの日中友好協会の活動が大切だと思う今日この頃です。日中関係の歴史をもっと知りたいと思う。」 次回映画会は11月23日(土)14:00～ライフパーク倉敷中ホールです。

次回の新聞発送作業は
9月29日(火)午前10時半か
ら民主会館で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

犬飼
貝吹
河井
真田